



学校だより第1号の発行、そしてご挨拶が大変遅くなり申し訳ありませんでした。本校4年目を迎えました学校長の小川です。今年度は私にとって38年に及ぶ教員生活のラストイヤーとなります。まだまだコロナウイルス感染症の影響が続く中ですが、本校着任当時から私が掲げているスローガン「来てよかった、行かせて良かったと実感できる学校づくり」の集大成の年と位置付けて、コロナ禍の中でも、子供たちに「笑顔と感動」をたくさん届けられるよう、知恵を絞って学校経営に全力で取り組みたいと思います。引き続き、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をお願いいたします。（今回は、今さらと思われる内容ですが、ぜひお読みいただければ幸いです。）

【始業式】 ～ 邂逅を大切に！ 笑顔で「顔晴ろう」！ ～

4月8日の始業式は2・3年生のみということで、感染症対策を取りながら体育館で実施しました。その中で、次のような話をしました。

新しい先生方との出会い、新しいクラスのメンバーとの出会いをはじめ、長い人生の中での出会いの多くは、すべて偶然のめぐり合い「邂逅」によるものです。人との出会いは、自分の意志や希望とは関係なしにやって来ます。しかし、その出会いを自分にとってプラスにするかマイナスにするかは自分の意志で決まります。「偶然のめぐり合い」を大切にしましょう。クラス替えでできた新しいクラスは、今はまだ偶然集まってできた30人ちょっとのただの集団でしかありませんが、それを1年かけて、「**き**っと、**す**っと、**な**かまだよ」と言えるような深い**絆**で結ばれた素敵な集団に作り上げていきましょう。そして「絆づくり」に欠かせないのが「笑顔」です。キーワードは「顔晴る（がんばる）」です。晴れやかな顔（笑顔）でいることを「顔晴る」と言います。歯を食いしばって「頑張る」ことも大切ですが、いつも笑顔で「顔晴る」ことで、友達の心を引きつけ、絆を深めてほしいと思います。

子供達の「絆づくり」を、保護者の皆様もぜひ、温かく見守り、応援してあげてください！



【入学式】 ～ ようこそ雀宮中へ 188名の新入生が仲間入り ～

4月9日、本校体育館で入学式を挙行了いたしました。188名の新入生を、在校生と教職員一同、心から歓迎いたします。昨年度は感染症対策のために、来賓、在校生、保護者の方の出席を取りやめ、新入生と教職員のみでの入学式でしたが、今年度は、保護者の皆様にもご出席いただけたことを大変うれしく思っています。

新入生は、中学校入学1か月前までは、それぞれの小学校の最上級生として、コロナウイルス感染拡大という今までに経験したことのない厳しい一年間を通して、様々な困難を乗り越えながら大きく成長できたはずです。その貴重な体験をぜひ中学校でも生かし、困難に負けることなく、夢や目標を失わず、前向きに挑戦し続けてほしいと思います。（入学式の様子は、当日の夕方、NHK テレビのニュース番組「とちぎ630」で放映されました。ご覧いただけましたか？）



【対面式・部活動紹介】 ～ これからよろしくお願いします ～

4月13日、本校体育館で、新入生と在校生による対面式及び部活動紹介を行いました。例年なら、対面式は入学式に続いて行っていますが、今年度の入学式は在校生が参加できなかったため、この日に実施しました。当初は校庭で全校生徒で実施する予定でしたが、雨天のため、体育館で新入生全員と、在校生は生徒会執行部を始めとする代表生徒で実施しました。生徒会長の稲場大耀くんによる歓迎の言葉、1年生の八代宙大くんによる新入生代表あいさつに続いて、入学記念の鉢花の贈呈を行いました。対面式の後は新入生への部活動紹介を行いました。感染症対策に十分配慮しながらの実施でしたが、2・3年生はそれぞれの部活動のユニフォームを身にまとい、白熱したパフォーマンスで部の魅力を紹介していました。現在、多くの1年生が部活動に入部し、先輩達と一緒に熱心に活動しています。コロナに負けず、部活動を通して多くの感動を体験し、成長してほしいです。



【新入生歓迎サプライズ企画】 ～ 新入生に満開の桜を見せる！ ～

コロナ禍で、学校行事や各種活動にも多くの制限がある中、本校の生徒達は生徒会が中心になって、自分達の学校生活を楽しく充実したものにと、積極的にアイデアを出しながら工夫して取り組んでくれています。4月23日の昼休みには、新入生歓迎サプライズ企画「新入生に満開の桜を見せる」を実施しました。今年度の入学式の日、すでに桜が散ってしまっていたことと、在校生が参加できなかったことから、在校生全員で、新入生に桜の花を見せて歓迎してあげたいという発想から生まれた企画です。給食終了後、生徒会長の稲場大耀くんが、1年生全員に中庭に集まるようアナウンスし、歓迎の言葉を述べた後、2・3年生全員が桜の花に見立てたピンク色の軍手をして、それぞれの教室の窓や2・3階の通路から一斉に手を振りながら「にこにこ〜！」と声を掛けました。1年生もそんな先輩達にお礼の言葉を返していました。とても微笑ましい光景でした。そして、2・3年生をととても頼もしく感じました。これからも、生徒達が感染拡大の逆境に負けず、自分達の手で学校生活を盛り上げていってくれることを期待しています。

